

第 31 回考古学研究会東海例会
「東海の埴輪—出現と終焉、地域性を探る—」

趣旨

東海地方における埴輪は先学による研究の蓄積によって、編年や地域性などについて十分整備されてきたといえる。一方、近年では新たな資料も発見され、従来の枠組みなどについて再検討することも必要である。本会では各地域の埴輪編年を再検証することを主眼としながら、埴輪の出現と終焉、地域性をキーワードとして東海における埴輪の特質について共通認識を構築したい。

日時 2018 年 8 月 4 日 (土)

会場：名古屋大学文学部 237 講義室

- 12:45-13:00 開会と趣旨説明
13:00-13:30 三田敦司氏 (西尾市教育委員会) 「地域報告① 三河の埴輪」
13:30-14:00 浅田博造氏 (春日井市教育委員会) 「地域報告② 尾張の埴輪」
14:00-14:30 酒井将史氏 (名古屋市教育委員会) 「地域報告③ 美濃の埴輪」
14:40-15:10 宮原佑治氏 (斎宮歴史博物館) 「地域報告④ 伊勢の埴輪」
15:10-15:40 鈴木一有氏 (浜松市文化財課) 「地域報告⑤ 遠江の埴輪」
15:40-16:10 藤村翔氏 (富士山かぐや姫ミュージアム) 「地域報告⑥ 駿河・伊豆の埴輪」
16:20-17:25 討論
17:25-17:30 閉会挨拶

問い合わせ先：西島庸介 (nishijiyy1982▲katch.ne.jp)

※▲を@に置き換えてください